

5年前の記憶もまだ消えない中での今回の豪雨災害。7/5の夕方から夜にかけて避難指示が本耶馬溪・耶馬溪・山国地区で出され、不安や心配で眠れぬ夜を過ごした方も多かったことと思います。

今回の災害における住宅関係の建物被害は、本耶馬溪・耶馬溪・山国地区で合計111軒でした。(8/8現在。市HPより)

全壊	4
半壊	3
一部損壊	3
床上浸水	11
床下浸水	90
計	111

豪雨再び：ボランティアの力



災害が起こると、社会福祉協議会は、被災者支援のひとつとして、ボランティアによる支援が必要な方がどれくらいいらっしゃるかの把握と支援の見立てを行ない、支援の調整をしていきます。今回、中津市社協では、豪雨の翌日(7/6)に耶馬溪・山国地区を中心に現地確認をしました。5年前の時ほどの被害はありませんでしたが、浸水や土砂等により生活環境の復旧支援が必要になる家があることが分かりました。その後約3日間、行政からの被害状況や地域の方からの情報により訪問調査を行い、7/10～ボランティアの方による支援が始まりました。

廃棄する物や家財道具の運搬には人の力が必要になります



床板をはがし、泥を取った後、消毒のための石灰まき



床板、畳を戻す作業も手伝いました



屋内・屋外の土砂の撤去作業は、7/27まで続きました



田んぼの水路が土砂が埋まり、高齢の方が多く地域では困っていました。「地域復興を応援しよう!」と支援期間中4日間、水路の土砂の撤去に多くのボランティアの方が参加いただきました。

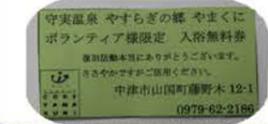


5年前にもボランティアとして関わっていたいた多くの方が、今回も直後からご連絡くださいました。また新たにご連絡いただいた方も含め、7/27までの期間中、**399名**のボランティアの方が活動されました。

さらに、建築士会や保健師さんなどとも一緒に調査等行なうことができ、ボランティア活動につなげることができました。災害は起こってほしくないですが、今後も、もしもに備え、いち早く復旧するためのボランティア支援がスムーズにいくような仕組みづくりを行なっていきます。



作業に必要なスコップなどの資材は、広島県社協よりお借りしました



ボランティアの方々のために市内の温泉施設3か所で無料開放されました

ボランティア・市民活動情報紙

ぺんぎん



9月号
No.226

え：よしだみずほ 2017年9月6日

《発行》中津市ボランティア・市民活動センター(中津市教育福祉センター内)
〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682
《ホームページ》http://www.nakatsu-s.or.jp/ E-MAIL volunteer@nakatsu-s.or.jp

グループ活動紹介

水の事故を防ぐために！ 大分着衣泳会 中津支部



《会員数》21名
男性：20名・女性1名
《設立》平成27年4月
《代表》中尾 歩樹

着衣泳とは、一般に服を着て泳いだり、水底を歩いたり、浮いたりすることをいいます。

「大分着衣泳会中津支部」は、平成27年に結成された団体です。中津市消防署の職員が水難学会の指導講習会を受けた後に、有志が休日を利用して小学生の児童を対象に、水の事故の予防と事故ゼロを目指して活動をしています。

今年は、小学校の授業の一環として山口小学校や深水小学校、如水小学校、南部小学校、城井小学校で行いました。また、メンバーの紹介で福岡県の西吉富小学校や唐原小学校にも出向いて活動をしたそうです。1回の授業は児童数にもよりますが、約13人のメンバーで構成し、学年ごとに分かれて45分で行います。プールに集まり、「友達とボール遊びをしていて、転がるボールを追いかけて一人が池に落ちる。落ちた友達に、「浮いて来て!」と声をかけてから、救急車を呼ぶ。」といった、設定をして実際にメンバー同士が演じてみせます。その場合は、慌てずに、一つ目は無駄に動かない事で体力を消耗しない事、二つ目は浮いて救助者を待つ事が自分の命を守る方法だそうです。

参加した児童の皆さんは、「もし水に落ちた時は、『浮いて待て』という言葉思い出して、落ち着いて待っていたいと思います。」「色々危険なことや、落ちた時にしないといけないことを学びました。」「最初は浮くことがとても難しかったけど、やっと浮くことが出来て良かったです。」と、話して下さいました。

メンバーの一人は、実際に海で事故にあったことがあり、この授業を受けたことで、パニックにならずに命が助かったそうです。その方は今、消防署の職員となり一緒に活動をしているそうです。会の今後の活動としては、「中津市内の全部の小学校で、大切な命を守る授業を行う事を目標にしていきたい。」と事務局長の松原さんは話して下さいました。



～あの人のボラとの出会い気になりませんか？～

ボランティアの出会い…NO.14

ほいのうち
堀之内
ゆき
ユキさん

支え合える地域づくりを目指して

私がボランティアと出会ったのは38年前。子育てが丁度、一段落した頃、中津で初めて開催されたボランティア講座を受講したことが活動を始めたきっかけです。その時、受講したメンバーとともにボランティア組織「エスパーの会」を立ち上げました。当初エスパーの会は、社協からの依頼のもと、さまざまな地域活動に取り組んでいました。現在は市民病院内でのボランティア活動を中心に行っており、私の活動の原点となっています。平成6年、社協の専門員から「これからの高齢社会は行政の力だけでは支えきれない時代がくる。何か地域の人手で支え合えるための活動をして欲しい。」との話があり、どうすれば良いのかとても悩みました。悩みぬいた中で「分からないものは分からない、分からないなりに何かやろう！」との考えに至り、当時の大幡校区の公民館長に相談し、月一度の高齢者の手芸教室を始めました。その後、男性向け料理教室や「一歩（あゆむ）の会」というミニデイサービス、健康体操教室、子どもから大人まで楽しめる年末「しめ縄づくり」、またその3年後にはそれらをひとつの組織としてまとめた「希望暮楽歩（ゆめくらぶ）おおはた」が出来ました。また平成10年には地域の高齢者や障がい者が日常生活に不便を感じていることを知り、住民型有償サービス「大幡まこもサービス」を立ち上げました。家族の理解、協力もあり、私は40年近くボランティア活動に携わることが出来ました。私にとってボランティアとは「良い出会いに巡り合えること」であり「わたしの生き方そのもの」です。今後は後継者を育て、楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。



給食ボランティアグループ 『さざ波会』

今月のおすすめの一品 鱧のごま風味

材料（4人分）

- ◆鱧・・・8切れ
- ◆酒・・・大さじ1
- ◆薄力粉・・・大さじ2
- ◆サラダ油・適宜
- 《たれ》
- しょう油・・・大さじ4
- 酒・・・大さじ1
- 砂糖・・・大さじ1
- ごま油・・・大さじ1
- すりごま・・・大さじ3

手順①

鱧を一口大に切る。酒をまぶす。

手順②

①に薄力粉をまぶしてフライパンに多めの油を入れて熱して焼く。



手順③

たれの調味料を合わせ、鱧とからめる。



会員数》14名（女性）
活動日》第2水曜日・会食
活動場所》小祝老人憩いの家
対象場所》小祝港町・新町・中島一部

☆☆会のみなさんから一言☆☆

私達の会は、漁村ならではの新鮮な魚介類を給食の献立に取り入れています。今月のおすすめは、鱧とエビザッコです。特徴としては、お弁当の配食だけではなく、会食もしております。毎回、受給者の皆さんから喜ばれています。その声が、私達の励みとなっています。

もみじ園の秋季大運動会をサポート！大募集！

耶馬溪の「指定障害福祉事業所もみじ園」では、毎年恒例の運動会を開催します。地域をあげての運動会となっており、参加者も楽しみにしています。

【活動日時】

10月8日（日）
10：00～15：30

【活動場所】

中津市立城井小学校グラウンド
※雨天の場合は、同体育館

【活動内容】

障がいの有る方のサポートや運営の手伝い等

【準備物】

飲み物、着替え等
※お弁当は主催者が用意をします。

【申し込み・お問い合わせ先】

もみじ園 0979-54-3490 担当：増永



第3回 中津ユニバーサルポタリング大会に参加してみませんか？

障がいのある方もない方もメイプル耶馬サイクリングロードで、タンデムサイクリング（二人乗り自転車）やウォーキングで散策を楽しみませんか？、車いすの部、ウォーキングの部、サイクリングの部等の部門があります。

【活動日時】

10月29日（日）9：00～15：00

【活動内容】

自転車の前乗り・当日のサポート等

【参加費】

500円（当日の保険料等）

【申込締切】

9月25日（月）まで

【申し込み・お問い合わせ先】

NPO法人 地域リハビリネットワークの会
ゆにぼた係 0979-64-8658



情報 中津市ボランティア・市民活動センターの登録状況

8月31日現在

《 団体登録数 》・・・161 団体数

- 内訳として
- ▲障がい者関係・・・7 団体
 - ▲子ども関係・・・19 団体
 - ▲高齢者関係・・・6 団体
 - ▲環境関係・・・14 団体
 - ▲芸能関係・・・19 団体
 - ▲その他・・・59 団体
 - ▲給食ボラ団体・・・37 団体

《 個人登録数 》・・・919名

- 内訳として
- 春ボラ・・・10名
 - 夏ボラ・・・209名
 - 災害ボラ・・・267名
 - その他・・・433名

《 登録ボラ延べ数 》・・・4,954名

☆ボランティア活動にご興味のある方は、ボランティアセンター
にお問い合わせを下さい。 ☎ 23-2095